

校内研究

担当 伊藤 育美

次年度より、第5・6学年では「創造的な資質・能力」の育成を目指す新設教科「おおたの未来づくり」を他校を先行して実施する予定です。また、そのための素地を養う取組が第1～4学年でも予定されています。

現代社会は、予測困難な時代であり、急速に変化し続けています。そのような未来社会を生きる子供たちにとって必要不可欠と考えられる力を新設教科「おおたの未来づくり」で育成していきます。

- (1) ものづくりや地域の創生に必要な知識及び技能を身に付けるようにする。
- (2) 試行錯誤して、地域の社会や人々の「Well-being」につながるものや取組を発信することができるようにする。
- (3) 実社会で活躍する様々な人などとの関わりを大切にするとともに、自分や他者のよさを生かして主体的に取り組み、よりよい未来を創造しようとする態度を養う。

子供たちが持続可能な社会をつくり、世界で活躍し、自己実現を図っていくためには、未来を創造するための見方・考え方を働かせ、よりよい未来をつくるための創造的な資質・能力を育むことが大切となります。そのために、大田区の特色を生かした「世界に誇る高い技術力」だけでなく、「豊かな自然と歴史」、「貴重な文化」等を教育資源として最大限に生かす教科横断的な学習を進め、「探究」と「創造」を往還しながら発展していく学習を行います。

子どもたち一人一人のよさや可能性を引き出しながら、充実した教育活動となるよう取り組んでいきます。

書き初め展

担当 谷内 青依

新年に初めて書を書くことを「書き初め」といいます。古来宮中では、1月2日に若水（元日の朝、初めに汲んだ水）で墨をすり、めでたい名歌・名文で書く、「吉書始の式」が行われ、これが書き初めの起源とされています。年頭にあたり、新年の抱負や目標を定めたり、新たな気持ちで文字の上達を願いながら文字を書いたりすることは、意義深い経験になることでしょう。

本校では、2学期末に書き初めに向けての指導を行いました。1・2年生は「筆圧や字形、文字の大きさ」、3～6年生は「筆遣い、文字の組み立て、配列など」に気を付けて練習しました。よい姿勢で、お手本を見て、丁寧に美しい字を書こうと集中して取り組む姿が見られました。

各学年の代表作品は「大田区立小学校書き初め展」に出品されます。1月12日(金)～18日(木)に池上会館1階展示ホールに展示されます。大田区内の全小学校の代表作品が集まります。

【校内書き初め展】

1月19日(金)・20日(土)・22(月)・23日(火) 放課後～16時20分
20日(土)は学校公開日のため参観時間内にご覧ください。

【大田区立小学校書き初め展】池上会館(1階 展示ホール)

1月12日(金)～18日(木) 9時～17時 (18日は13時30分まで)